

令和6年度

琉球大学大学院医学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

一般、社会人及び外国人留学生志願者、入学資格の認定による志願者の出願日程は、以下のとおりです。募集人員に満たなかった場合は第2次募集を行います。

【一般入試、社会人入試及び外国人留学生入試】

	第1次募集	第2次募集
出 願 期 間	令和5年8月2日（水） ～8月9日（水） （土、日を除く）	令和6年1月23日（火） ～1月30日（火） （土、日を除く）
審 査 結 果 ※	令和5年9月4日（月）	令和6年2月6日（火）
選 抜 試 験	令和5年9月30日（土）	令和6年2月17日（土）
合 格 発 表	令和5年10月23日（月）	令和6年3月14日（木）

※入学資格審査のみ

○台風等の災害によって募集日程や選抜方法を変更する場合があります。

募集日程や選抜方法を変更する場合は琉球大学医学部ホームページでお知らせいたしますので、必ずご確認ください。

琉球大学大学院医学研究科

琉球大学大学院医学研究科

【アドミッションポリシー】

（修士課程）

- 1 各々の専門分野での経験・知識・技術を活かして、生命医療科学・医療福祉の分野の研究の発展に寄与し、社会に貢献したいと考える人
- 2 医療の専門性を理解し、高度医療職業人として地域特性に対応した医療と福祉に従事することを目指す人
- 3 修士課程での研究を基に、さらに博士課程への進学を志す人

【カリキュラム・ポリシー】

- 1 正しい倫理観を基盤に置き、研究分野間の有機的な連携を構築する教育を行います。
- 2 包括的で多様な知識や技術の獲得を促す学生指導を行います。
- 3 国際的な活躍、かつ、リーダーシップを発揮する高度な人材を育成するため、異分野横断的な大学院プログラムを展開します。
- 4 最新の生命科学の知識を提供します。

【ディプロマ・ポリシー】

（修士・博士課程共通）

本プログラムは、琉球大学の「自由平等、寛容平和」の建学の精神の下、本学の大学院学習教育目標 URGCC-Advanced（琉大グローバルシティズン・カリキュラム・アドバンスド）に掲げる「専門性」「創造性」「倫理性」を身に付けさせるため、研究科の専門分野の特色と人材養成目的に基づいて、研究・生命科学・医分野において、正しい倫理観を備えた人材を育成します。

（修士課程）

- 1 医学の分野における基礎知識を修得しています。
- 2 研究を計画・実施し、得られた結果を解析できます。
- 3 研究結果を他分野の研究者に説明できます。

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 番地

国立大学法人琉球大学 上原キャンパス
事務部学務課（医学部）入試・学事係

☎（０９８）－８９５－１０３２又は１０５３

目 次

学生募集要項.....	1
1. 専攻及び募集人員.....	1
2. 出願資格.....	1
3. 入学資格審査.....	2
4. 出願期間及び手続（入学資格審査を含む）.....	2
5. 災害等により被災した令和6年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する 特例措置について.....	5
6. 選抜方法.....	6
7. 合格発表.....	6
8. 入学手続.....	6
9. 注意事項.....	6
10. 第2次募集について.....	7
11. 長期履修制度について.....	7
12. 入学料及び授業料.....	8
13. 奨学金制度.....	8
14. 保険について.....	8
15. 障がい等を有する者、疾病・負傷等を有する入学志願者の事前相談について.....	8
研究科案内.....	10
出願書類様式等	

学生募集要項

1. 専攻及び募集人員（募集人員には、社会人、外国人留学生を含む。）

専攻	募集人員
医科学	15 名

注 1. 社会人とは、病院、研究所、官公庁、企業等に勤務し、入学後もその身分を有する者とする。

注 2. 入学志願者は、教育研究分野を第 2 志望まで出願することができる。

2. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び令和 6 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、又は令和 6 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 6 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 6 年 3 月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 令和 6 年 3 月 31 日までに大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位をすぐれた成績をもって修得したものと認めた者
- (10) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学したものであって本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 6 年 4 月 1 日までに 22 歳に達した者

大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について

※ 趣旨

近年、医療技術の進歩により社会は複雑高度化し、医療及び福祉への急速なる変革をもたらしています。大学院にあっては、一層の学術の高度化と総合化、創造的職業人養成の強化が急務となり、社会人にあっては、最新の医療技術、医療機器に対応するための日常的研鑽が必須になってきています。

そこで本研究科では、大学院設置基準第14条特例の昼夜開講制による授業を実施します。昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に授業・研究指導の時間を設け、現に実施診療にあたっている医師、企業に勤務している社会人技術者、教育者及び研究者等の社会人に大学院の授業、研究指導をより受け入れ易くする制度です。

(注) 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」

3. 入学資格審査

「出願資格(9)・(10)・(11)」に該当する者は、個別に入学資格の審査を行いますので、出願書類(P 3、4 参照)とともに、次の申請書類を提出してください。

(1) 入学資格の認定に必要な書類

① 志望理由書	本学所定の用紙に研究科を志望した理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
② 最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書、成績証明書(短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業(修了)した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書、成績証明書を併せて提出してください。)
③ 最終学歴の学校に関する資料	入学資格、卒業(修了)要件、修業年限、カリキュラム等が記載されている資料を提出してください。
④ その他学修に関する資料	科目等履修生等の成績証明書等提出してください。
⑤ 研究歴証明書(該当する者)	本学所定の用紙に大学、研究所等において研究に従事したことのある者は、記入のうえ、提出してください。
⑥ 研究業績目録(該当する者)	学術論文等を有する者(論文の別冊、又は写しを添付)

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り提出すること。

4. 出願期間及び手続(入学資格審査を含む)

(1) 出願者は、次の出願書類及び入学検定料納付証明書(大学提出用)を添えて出願期間内に提出すること。

出願期間: 令和5年8月2日(水)～令和5年8月9日(水)(土、日を除く)

受付時間: 午前9時～午後5時

期限後に到着した場合は受理しません。

郵送の場合は、必ず『書留』とし、封筒に「大学院医学研究科(修士課程)入学志願書類 在中」と朱書きして令和5年8月9日(水)午後5時までに必着のこと。

提出先: 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

国立大学法人琉球大学 上原キャンパス事務部学務課(医学部)入試・学事係

TEL 098-895-1032 又は 1053

(2) 入学資格審査の結果通知

審査は提出された申請書類により行い、その結果は、令和5年9月4日（月）本人あてに通知書を送付します。

(3) 出願書類

出願書類等	摘 要
①入 学 志 願 票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 ※職歴等記載欄が足りない場合は、別紙（A4様式自由・左上に氏名を記載）を作成してください。
②成 績 証 明 書	出身大学（学部）長等が作成し、厳封したものを提出してください。大学院修士（博士前期）課程修了者にあつては、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
③卒業（修了）又は見込み証明書	出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。（中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。）
④検定料納付証明書（大学提出用）	検定料 30,000円（別添の「検定料振込書」を使用してください。） 検定料振込期間 令和5年7月26日（水）～8月9日（水） ※ 特例措置対象者（P5下段参照）は、検定料を振込まず、申請手続を行ってください。 1. 振込方法 ア. 検定料振込書の※印欄を黒のボールペン（消えるボールペンは不可）で正確に記入してください。 《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）》 イ. 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。 ウ. 振込手数料については、志願者本人負担となります。 エ. 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学提出用）」を受け取る際は、<u>取扱金融機関収納印を確認</u>してください。 オ. 「検定料納付証明書（大学提出用）」は<u>出願書類に同封して提出</u>してください。 ※この募集要項添付の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関備付の振込依頼書で振込んでください。 振込依頼人氏名は、先に募集区分（医学研究科修士課程は471）、次に志願者本人氏名としてください。 例 471タ`イガ`クタロウ 振込先口座、金額及び募集区分は「検定料振込書」で確認してください。 受領書の写しを「検定料納付証明書（大学提出用）」の代わりに提出してください。 2. 留意事項 ア. 検定料が振込まれていない場合、「検定料納付証明書（大学提出用）」が出願書類に同封されていない場合、「検定料納付証明書（大学提出用）」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類を受理しません。

出願書類等	摘 要
④検定料納付証明書 (大学提出用)	イ. 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 ①検定料を振込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま出願期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合） ②誤って検定料を二重に振込んだ場合 ③特例措置対象者（P 5 下段参照）が検定料を振込んだ場合 ※ 上記①②に該当する場合は、(1)現住所、(2)電話番号、(3)志願者本人氏名（フリガナを明記）、(4)納付年月日、(5)納付金額、(6)返還請求の理由、(7)振込口座（①金融機関名、②支店名、③預金種別、④店番、⑤口座番号、⑥口座名義（フリガナを明記）を記入した「返還金払戻請求書」を作成し、氏名欄へ押印のうえ、「検定料納付証明書（大学提出用）」を同封して下記へ送付してください（封筒には「返還金払戻請求書在中」と朱書きしてください。） （返還は銀行振込で行います。保護者名義口座の場合は必ず続柄も明記してください。ゆうちょ銀行口座を指定する場合は、振込用の店名・店番・預金種目・口座番号を明記してください。返還には請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。） ※ 上記③に該当する場合は、返還手続（P 5 参照）を行ってください。 送付期限：令和6年3月29日（金） 送 付 先：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学財務部経理課収入・支出係 TEL098-895-8058
⑤受験票・写真票	本学所定の用紙に出願前3か月以内に撮影した、上半身、脱帽、正面向・縦4cm・横3cmの写真を所定の欄に貼付してください。
⑥受験票等送付用封筒	長形3号の封筒に自己のあて先・郵便番号を明記し、必ず344円の切手を貼付してください。
⑦在留資格を証明する物 (該当者のみ)	日本国内に居住している者は、入国査証（Visa）の写し、住民票の写し（市区町村長発行。記載事項の省略が無いもの。）等を提出してください。 日本国内に居住していない者は、「入国カード」の写し又は旅券（パスポート）等の写しを提出してください。
⑧受験許可書 (社会人のみ)	大学院に在学中の者は、大学長等の受験許可書を、また、官公署、会社等に在職中（予定者含）の者は、入学年度に在職（予定）する所属長の受験許可書（別紙様式）を提出してください。（本学大学院医学研究科、琉球大学病院に在職している場合は、所属する講座の長又は診療部科長の印）
⑨戸籍抄本 (該当者のみ)	成績証明書及び卒業（修了）（見込み）証明書等に記載されている氏名と現在の氏名が異なっている者のみ提出してください。

※出願に際しては、必ず希望する指導教員と連絡を取り提出すること。

5. 災害等により被災した令和6年度琉球大学入学者選抜試験志願者の検定料に関する特例措置について
- 琉球大学では、令和6年度の全ての入学者選抜に関して、被災者の経済的負担を軽減することにより、受験の機会を確保するため、以下のとおり特別措置を実施します。

(1) 措置内容

検定料の免除

大学院入試 30,000円

(2) 免除の対象者及び必要書類

対 象 者	必 要 書 類
A. 災害救助法が適用されている地域のうち 文部科学省から配慮依頼がある災害で 被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者	ア又はイの書類
ア 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が 全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	罹災（りさい）証明書
イ 主たる家計支持者が死亡、又は行方不明 の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
B. 居住地が福島第一原子力発電所事故により、 帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示 解除準備区域に指定された者	被災証明書

●文部科学省から配慮依頼がある災害等

- ・東日本大震災関連情報: 文部科学省 HP(https://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/)
- ・熊本県熊本地方を震源とする地震について: 文部科学省 HP(https://www.mext.go.jp/a_menu/kumamotojisin/index.htm)
- ・その他の災害: 文部科学省 HP(https://www.mext.go.jp/a_menu/sonotajisin/index.htm)

(3) 申請の方法

本学所定の様式（検定料免除申請書）に、り災証明書等を添えて、出願書類とともに同封のうえ提出してください。

なお、申請する場合は、「検定料」を振り込まないよう注意してください。

また、すでに納付した検定料の返還を希望する場合は、本学所定の様式（返還金払戻請求書）に、り災証明書等を添えて各学部学務担当へ申請してください。申請後、検定料を返還します。

※返還金払戻請求書の提出期限：令和6年3月29日（金）

提出先

〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

国立大学法人琉球大学 上原キャンパス事務部学務課（医学部）入試・学事係

TEL 098-895-1032又は1053

6. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、成績証明書の結果を総合して判断します。

(1) 学力検査の日時・試験科目

日 時		科 目	備 考
令和5年 9月30日(土)	10:00 ～ 11:40	英語	筆記試験 辞書は、英和、和英、医学辞書持込み可 (電子辞書は持込み不可)。
面接(口頭試問)		指導予定教員と個別に行いますので、受験票が届きましたら速やかに連絡を取ってください。	

注1. 受験者は、9時30分までに本学臨床講義棟2階の試験会場に集合すること。

注2. 「英語」の試験については次に該当する者は免除する。

①英検1級合格者 ②TOEFL:PBT(580点以上)、CBT(237点以上)、iBT(92点以上)

③TOEIC(860点以上) ④国連英検特A級及びA級商業英語Aクラス

注3. 台風の接近が予想される際は、琉球大学医学部ホームページでお知らせいたしますので、ご確認をお願いします。(https://www.med.u-ryukyu.ac.jp/)

(2) 試験場 琉球大学医学部 臨床講義棟2階

7. 合格発表

合格者の発表は、令和5年10月23日(月)14時頃に本学上原キャンパス事務部学務課(医学部)(がじゅまる会館2F)前掲示板に掲示するとともに、合格者に対しては、郵送で通知します。

※ 発表に関しては、電話による問い合わせには一切応じません。

8. 入学手続

(1) 入学手続期間

令和6年3月21日(木)～22日(金)

(2) 入学手続場所

琉球大学上原キャンパス事務部学務課(医学部)入試・学事係

(注) 入学手続については、合格者あてに別途入学手続案内を送付します。

9. 注意事項

(1) 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。

(2) 出願書類の提出後は、いかなる理由があっても出願事項の変更は認めません。また入学検定料は返還しません。

(3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

10. 第2次募集について

合格者が募集人員に満たなかった場合、次の期日に第2次募集を行います。

※ 出願手続、選抜方法等は、第1次募集に準じます。

(1) 出願期間及び手続（入学資格審査を含む）

出願期間 令和6年1月23日（火）～令和6年1月30日（火）（土、日を除く）

受付時間 午前9時～午後5時

検定料振込期間 令和6年1月16日（火）～令和6年1月30日（火）

郵送の場合は、必ず『書留』とし、封筒に「大学院医学研究科（修士課程）入学志願書類在中」と朱書きして出願期間内までに必着のこと。

(2) 入学資格審査の審査結果

結果通知 令和6年2月6日（火）に本人あてに通知書を送付します。

(3) 学力検査の日時等

令和6年2月17日（土）

※学力検査科目、試験時間については、第1次募集に準じます。

(4) 合格発表

令和6年3月14日（木）14時頃

本学上原キャンパス事務部学務課（医学部）（がじゅまる会館2F）前掲示板に掲示するとともに、合格者に対しては、郵送で通知します。

※ 発表に関しては、電話による問い合わせには一切応じません。

(5) 入学手続

入学手続期間 令和6年3月21日（木）～22日（金）

入学手続きについては、合格者あてに別途通知します。

11. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限で修了することが困難である学生を対象として、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができ、かつ、その間の授業料の年額の負担を軽減することができる制度です。

希望者は、事前に指導教員と研究計画について相談し、職業を有する者は、長期履修制度の利用にあたっては、各自で勤務先の内諾等を得るようにしてください。

12. 入学料及び授業料

入学料 282,000円（予定額）

授業料（前期分）267,900円（後期分）267,900円（年額535,800円）（予定額）

（注）① 上記については予定額であり、入学時及び在学中に金額の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

② 授業料の納入については、本人の申し出により前期分の納入の際に、後期分も合わせて納入することができます。

③ 「入学料免除・徴収猶予」及び「授業料免除」制度があります。合格者に送付する「入学者心得」をご確認いただくか、学生支援課学生援護係にお問い合わせください。

13. 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金（貸与型）は、下記の方法で申し込みができます。詳細は琉球大学学生生活支援情報HP「奨学金」ページをご覧ください（下記URL参照）。

（1）予約採用

大学院に進学する前に、事前に申請を受け付けます。

① 募集期間 9月下旬～12月中旬

② 申込方法 9月中旬に琉球大学学生生活支援情報HPで周知

（2）定期採用

大学院に入学後に、毎年度申請を受け付けます。

① 募集期間（春募集）入学～4月下旬（秋募集）9月中旬～10月中旬

② 申込方法 春募集は3月下旬、秋募集は9月中旬に琉球大学学生生活支援情報HPで周知

<問い合わせ先>

学生部学生支援課奨学係 TEL：098-895-8136

E-mail：gksygsn@acs.u-ryukyu.ac.jp

学生生活支援情報HP：<https://slsi.skr.u-ryukyu.ac.jp/gksien/>

14. 保険について

（1）学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）

（2）学研災付帯賠償責任保険 医学生教育研究賠償責任保険（略称「医学賠」）※学研災のオプションです。

詳細は、合格者へ送付する「入学者心得」の際にお知らせします。

問い合わせ先：学生部学生支援課 学生援護係

電話：098-895-8135

上原キャンパス事務部学務課（医学部） 学生支援係

電話：098-895-1055

15. 障がい等を有する者、疾病・負傷等を有する入学志願者の事前相談について

本研究科へ入学を志願する者で、障がい等を有する者、疾病・負傷等がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、あらかじめ出願する際に上原キャンパス事務部学務課（医学部）入試・学事係（TEL 098-895-1032又は1053）に申し出てください。

— 個人情報の取扱いについて —

本研究科が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続きに関わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の氏名等を入学後の学籍管理等、修学に関わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入管理に関わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など、修学支援に関わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究などに利用します。

※ 本研究科が取得した個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」第18条、第27条及び第28条に規定されている場合を除き、出願者の同意を得ることなく他の目的で利用、または第三者に提供することはありません。

研究科案内

1. 目 的

琉球大学大学院医学研究科（修士課程）は、近年の医学・医療分野の急速な多様化と発展に対応するため、医学部以外の学部、特に生命科学系及び関連する教育研究分野の卒業生を受け入れ、その知識・技術を医学の分野に効果的に生かし得る教育研究指導を行うことにより、生命医科学の分野で幅広い知識・技術と応用力を身に付けた修士課程修了者を養成する。

また、短大、専門学校出身者を含む医療従事者や経済的な理由などで大学院博士課程への進学が困難な発展途上国の人材を積極的に受け入れ、社会科学系分野とも連携した調和の取れた包括医療、先進医療の在り方を探り、地域貢献や国際貢献の場で実践的役割を果たすことのできる高度専門医療職業人、中堅研究者の育成に努めることを目的とする。

2. 履修方法

修業年限は2年とする。

医科学専攻（修士課程）の教育課程は、共通必修科目、必修科目及び選択必修科目から構成される。

ア 共通必修科目

医科学の基礎知識を修得させるために「研究方法概論」（2単位）、「生命倫理概論」（2単位）、「社会医学概論」（2単位）、「生命工学概論」（4単位）、「基礎医学概論」（2単位）、「臨床医学概論」（2単位）、（6科目14単位）を共通必修科目として修得する。

イ 必修科目

研究課題に応じた「医科学研究実習」を2年間で8単位必修科目として履修し、修士論文を作成する。

ウ 選択必修科目

医学研究の実際的技術を習得させるために、「人体構造実習」、「病院実習」（各2単位）のうちから選択必修科目として1科目を修得する。

エ 選択科目

研究課題に応じたより専門的な医学知識と特色科目を修得するために選択科目の中から、3科目6単位以上を履修する。

オ 学位（修士）論文の作成指導

学位論文の作成指導は、指導教員と関連した課題によって行う副指導教員によって行う。

3. 修了要件

修士課程に2年以上在学し、共通必修科目の14単位、必修科目の8単位、選択必修科目から2単位、選択科目から3科目6単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

4. 学位の授与

修士課程を修了した者には、修士（医科学）の学位を授与する。

医学研究科研究内容

○各メールアドレスの後の「.u-ryukyu.ac.jp」を省略してあります。

○ダイヤルインの前の「098-895」は、省略してあります。

講 座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研 究 内 容
システム生理学	宮 里 実 miyaz929@med (1111)	・加齢にともなう自律神経変化と排尿障害機序の解明 ・排尿病態モデルを利用した排尿障害創薬研究 ・難治性骨盤痛を標的とした神経可塑性の研究 ・排尿を起点とした橋渡し研究とイノベーションの開発 ・母子隔離ストレスモデルを利用した排尿機能障害と中枢神経可塑性機序の解明 ・自閉症マウスモデルを用いた認知行動機能障害の機序分析
放射線診断治療学	西 江 昭 弘 nishie_a@med (1160)	・がんの病理、治療効果、予後を予測する総合的な画像診断法の確立 ・放射線を用いた新たな腫瘍制御法の開発 ・多様な生体機能を抽出する画像診断システムの構築
脳神経外科学	未 定	未 定
眼科学	古 泉 英 貴 hkoizumi@med (1180)	・黄斑疾患・網脈絡膜疾患の疫学、予防、治療に関する研究 ・黄斑疾患・網脈絡膜疾患におけるバイオマーカーを用いた病態解析 ・非侵襲的眼底イメージング法の開発と臨床応用 ・緑内障における大規模コホート疫学研究 ・緑内障における隅角および房水流出路の形態解析と眼圧制御メカニズムの解明
育成医学	中 西 浩 一 knakanis@med (1155)	・小児腎臓病の治療研究と病態解析 ・小児血液・腫瘍性疾患の治療研究と病態解析 ・先天性代謝異常の治療研究と病態解析 ・小児膠原病・リウマチ性疾患の治療研究と病態解析 ・新生児疾患の治療研究と病態解析 ・小児内分泌疾患の治療研究と病態解析 ・小児神経・筋疾患の治療研究と病態解析 ・小児アレルギー疾患の治療研究と病態解析 ・希少・難治性疾患の治療研究と病態解析
耳鼻咽喉・頭頸部外科学	鈴 木 幹 男 suzuki@med (1181)	・脳機能画像を用いた感覚・運動障害の評価 ・遺伝子性難聴の病態、診断 ・メニエール病治療法の開発 ・頭頸部悪性腫瘍発生、治療効果と関連する遺伝子群およびウイルス感染の検索
精神病態医学	未 定	未 定
先進ゲノム検査医学	前 田 士 郎 smaeda@med (1204)	・沖縄県民を対象とした全ゲノム解析（ゲノムワイド関連（相関）解析、全ゲノムシーケンス解析） ・生活習慣病の遺伝素因解明 ・環境因子と遺伝因子の相互作用解析 ・薬剤感受性および副作用にかかわるゲノム情報解明 ・生活習慣病の個別化医療および予防法（プレジジョンメディスン）の構築 ・沖縄県民の遺伝的多様性と人類史との関連研究

講 座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研 究 内 容
再生医学	野 口 洋 文 noguchih@med (1696)	・ ES、iPS 細胞から各臓器・組織への分化誘導 ・ iPS 細胞、iPS 類似細胞の作製および機能評価 ・ 間葉系幹細胞（骨髄由来・脂肪由来）を用いた細胞療法 ・ 膵・肝細胞の分離・培養技術の開発 ・ 膵島移植成績向上を目指した技術改変 ・ 血糖反応性インスリン分泌機能を持ったデバイス開発
分子解剖学	高 山 千 利 takachan@med (1103)	・ 中枢神経系における GABA 及びグリシンシグナルの形成機構に関する分子形態学的解析 ・ 遺伝子改変マウスを用いた GABA の機能解析 ・ 神経障害性疼痛のメカニズムと治療法開発に関する研究 ・ 損傷神経の再生機構に関する研究
ゲノム医科学	未 定	未 定
人体解剖学	木 村 亮 介 rkimura@med (1100)	・ 医用画像を用いた頭蓋顔面を中心とした形態変異の解析 ・ 顔面形態に関連する遺伝子多型の同定 ・ アジア人特異的な皮膚機能に関する遺伝子多型の同定 ・ ゲノム情報を用いたヒト集団形成史の復元
分子・細胞生理学	松 下 正 之 masayuki@med (1106)	・ 低酸素・酸化ストレス応答機構の解明 ・ ヒト iPS 細胞を用いた精神疾患の病態解明
薬理学	筒 井 正 人 tsutsui@med (1133)	・ 一酸化窒素（NO）合成酵素系完全欠損マウスを用いた医学研究 ・ マウス食物アレルギーモデルを用いた経口免疫寛容の研究 ・ 活性硫黄合成酵素トリプル欠損マウスの開発と機能解析 ・ 肺高血圧における新規遺伝子治療法の開発 ・ 心筋梗塞の発症における糞便移植（腸内細菌叢移植）の抑制作用
胸部心臓血管外科学	古 川 浩二郎 kojirof@med (1166)	・ 弁膜症手術における形成術の成績向上のための基礎的・臨床的研究 ・ 大動脈手術における脊髄障害発生のメカニズムの解明と予防法の開発 ・ 重症心不全に対する人工心臓治療の基礎的・臨床的研究 ・ 大動脈瘤に対する新規カテーテル治療の開発 ・ Budd-Chiari 症候群の発症メカニズムの解明と低侵襲手術の開発 ・ 肥大型心筋症に対する外科治療の開発
麻酔科学	垣 花 学 mnb-shk@med (1187)	・ 主要臓器（特に肺、脳）の病変修復機構の解明と治療法の開発 ・ 虚血性脳・脊髄障害の発生機序解明と治療法の開発 ・ 運動誘発電位モニタリングによる脊髄機能評価法の臨床応用に関する研究 ・ 生体ガス分子を用いた臓器保護の機序解明ならびに臨床応用に関する研究 ・ 神経変性疾患に対する硫化水素の神経保護効果の分子生物学的研究 ・ 自然免疫と中枢神経障害の関連に関する研究
整形外科学	西 田 康太郎 kotaro@med (1172)	・ 神経筋原性側弯症の病態・自然経過と治療戦略 ・ 沖縄県における骨粗鬆症治療に関する疫学調査 ・ 屈筋腱断裂における新しい縫合法の基礎研究 ・ 悪性骨・軟部腫瘍の特性を制御するマイクロ RNA の探索と新規抗がん剤の開発 ・ バイオ 3D プリンターを用いたスポーツ障害に対する再生医療の技術開発—前十字靱帯再建術時の骨靱帯結合部の再生— ・ 人工股関節置換術後の脊椎—股関節アライメント変化について
腎泌尿器外科学	未 定	未 定

講 座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研 究 内 容
顎顔面口腔 機能再建学	中 村 博 幸 hnak@med (1190)	・口腔癌微小環境での免疫寛容獲得機構の解明 ・口腔癌の浸潤・転移獲得機構の解明 ・口腔癌再発予防ペプチドカクテルワクチンの樹立に関する基礎的研究 ・顎関節症滑膜炎誘導機構の解明 ・歯髄幹細胞を用いた顎骨再生法の検討 ・地域脳健診での口腔機能と認知症の関連解析
救急医学	梅 村 武 寛 takeume@med (1197)	・侵襲に対する生体の反応と制御についての研究 ・重症救急患者の病態解析と救命救急治療法の開発 ・救急医療システムと集団災害医療システムの研究 ・蘇生法の疫学研究 ・蘇生法の研究
臨床薬理学	植 田 真一郎 blessyou@med (1193)	・糖尿病合併冠動脈疾患におけるコホート研究およびランダム化比較試験 ・薬剤コホート研究 ・薬物治療の至適化、個別化 ・心血管薬医師主導治験 ・ヒト血管薬理学
薬物治療学	中 村 克 徳 nkatsu@med (1346)	・薬物代謝酵素、薬物トランスポータ、薬物受容体の遺伝子解析による個別化医療の研究 ・いわゆる健康食品と医薬品の相互作用回避のための調査研究 ・医薬品の適正使用のための調査研究 ・医薬品による副作用、特に重症薬疹の予測・対処法の臨床応用に関する教育・研究 ・沖縄県の特徴を踏まえた地域医療教育・研究
医化学	鈴 木 健 夫 t_suzuki@med (1115)	・核酸修飾に関するケミカルスペースの探索および遺伝子発現調節機構の解明 ・修飾異常に基づく疾患のエピトランスクリプトーム解析および病態解明の研究。診断・予防・治療への応用 ・細胞内タンパク質合成の制御や調整に関する研究
生化学	黒 柳 秀 人 hidehito@med (1112)	・遺伝子発現の転写後制御機構の解明 ・遺伝子発現制御機構の破綻による病態形成機構の解明 ・拡張型心筋症モデルマウスの作製と解析 ・ゼブラフィッシュの先天性貧血疾患モデルの解析
腫瘍病理学	和 田 直 樹 wadan@med (1118)	・腫瘍の臨床病理学的解析 ・日常病理診断で経験する症例に立脚した研究 ・腫瘍幹細胞的性格を有する細胞分画の研究
細胞病理学	未 定	未 定
衛生学・公衆衛生学	中 村 幸 志 knakamur@med (1136)	・一般人での生活習慣・バイオマーカーと非感染性疾患（特に循環器系領域） ・公衆衛生の立場での生活習慣病対策 ・妊婦の生活習慣や環境と子どもの成長発達
法医学	二 宮 賢 司 ninomiya@med (1139)	・減圧症の法医学的診断法の確立 ・海洋法医学的研究 ・局所への陰圧が生体に与える影響について ・薬毒物の体内動態および代謝 ・薬毒物の高感度分析法の開発

講 座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研 究 内 容
内分泌代謝 ・血液・膠原 病内科学	益 崎 裕 章 hiroaki@med (1146)	・食の嗜好性・食行動変容に関わる脳内分子メカニズムの解明と医学応用および新しい治療法・予防法の開発 ・人工知能（AI）、IoT を活用する 2 型糖尿病・肥満症発症予防の行動科学に関する研究 ・血液悪性腫瘍の分子メカニズムの解明および新規の治療法・評価法の開発 ・アルコール依存・ニコチン依存の脳内分子メカニズムに関する研究 ・高尿酸血症の病態生理学的意義に関する基礎的・臨床的研究 ・メタボリックシンドロームの病態解明に関する研究 ・糖尿病・骨髄移植（血液悪性腫瘍）、生活習慣病に関わる効果的チーム診療のシステム開発に関する研究 ・メタボロームを活用した代謝内分泌疾患、血液疾患、膠原病リウマチ疾患の病態解明と評価法の開発 ・FDG-PET/CT や機能的 MRI を活用した内分泌代謝疾患・血液悪性腫瘍の新しい評価法に関する臨床的研究 ・膠原病リウマチ疾患の病態解明、評価法・治療法の開発研究 ・成人 T 細胞白血病の病態、治療法、疫学に関する臨床的・基礎的研究 ・腸内フローラ・腸脳連関と認知症・うつ・生活習慣病に関する研究
循環器・腎 臓・神経内 科学	楠 瀬 賢 也 kusunosek@med (1148)	・高血圧・動脈硬化・生活習慣病における成因・病態解明と臨床試験 ・腎臓病の病態と治療に関する研究 ・脳卒中の病態および脳循環代謝の研究 ・神経疾患の病態に関する研究 ・地域特性を反映した循環器疾患，生活習慣病，腎臓病，神経疾患の疫学研究 ・新指標を活用した心エコー図検査による心疾患の早期検出とリスク層別化研究 ・多施設共同研究の疾患データを用いた臨床研究：疾患への洞察と臨床問題の解明 ・AI を活用した心エコー図検査の自動化と診断精度向上に関する研究 ・AI を用いた疾患予後予測の精度改善および精緻医療についての研究 ・AI 技術を利用した遠隔診断と遠隔医療実現に向けた研究
消化器・腫 瘍外科学	高 槻 光 寿 mtaka1@med (2411)	・食道癌切除リンパ節における微小転移巣の臨床的意義 ・肛門管癌の病態解明と Staging（病期分類）に関する研究 ・大腸癌手術における縫合不全予防のための血流評価 ・肥満大腸癌患者に対する腹腔鏡下手術の腫瘍学的安全性の評価 ・不可逆性肝疾患に対する肝移植の成績改善のための研究 ・膵癌の治療成績向上のための分子生物学的研究 ・腸内細菌が免疫応答におよぼす影響についての研究 ・肝移植における免疫寛容についての研究 ・デジタル技術を用いた手術シミュレーション・ナビゲーションについての研究
女性・生殖 医学	未 定	未 定
微生物学・ 腫瘍学		学生募集は行っておりません
細菌学	山 城 哲 tyamashi@med (1125)	・コレラ菌の病原因子解析に関する研究 ・紅麹抽出物によるコレラ菌の持つ病原性の抑制作用に関する研究 ・せんい状コレラ菌の病原性に関する研究 ・コレラ菌の Viable but Not Culturable（VBNC）の研究 ・レプトスピラ感染症の持続感染機構の解明に関する研究 ・沖縄県における下痢症の疫学的研究

講 座	指導教員（教授） メールアドレス （ダイヤルイン）	研 究 内 容
免疫学・寄生虫学	岸 本 英 博 hidek@med (1127)	・免疫記憶誘導機構の分子細胞生物学的解析 ・胸腺における NegativeSelection の分子機構の研究 ・新規がん免疫療法の開発 ・移植片に対する寛容誘導の研究 ・感染症のワクチン効果に関する免疫賦活剤の検討 ・感染症に対する新規抗体医薬品の開発
皮膚科学	高 橋 健 造 kenzot@med (1153)	・沖縄・琉球諸島に多い皮膚症の解析 ・カボジ肉腫・血管肉腫の発症病態の解明 ・ヒトの皮膚の創傷治癒遅延の解明 ・皮膚の内因性老化を促進する因子の探索 ・角化症治療薬の創薬
先進医療創成科学	山 下 暁 朗 akyama21@med (1202)	・がん抗原発現制御を中心としたがん免疫賦活法の開発 ・mRNA 監視機構の基礎研究と希少疾患治療法の開発 ・疾患関連遺伝子由来 mRNA 転写後制御の基礎研究と診断・予防・治療法の開発 ・mRNA 転写後制御をターゲットにした創薬プラットフォームの構築 ・血液系腫瘍の発がんメカニズム解明と診断・予防・治療法の開発
感染症・呼吸器・消化器内科学	山 本 和 子 kazukomd@med (1144)	・呼吸器ウイルスと関連する肺炎の免疫病態の解明 ・侵襲性肺炎球菌感染症の病態の解明 ・肺マイクروبイオームと感染症の関係の解明 ・自己免疫疾患に合併する肺感染症の疫学 ・沖縄県の肺非結核性抗酸菌の疫学と臨床像、微生物の分子学的特徴の解明 ・沖縄県のヘリコバクター・ピロリ菌の疫学と臨床像、微生物の分子学的特徴の解明 ・沖縄県の肝疾患の疫学と臨床像、疾患感受性遺伝子の分析 ・胆道および膵管のマクロバイオームと炎症の解明
ウイルス学	大 野 真 治 soono@med (1708)	・ウイルス感染メカニズムの解明 ・ウイルス感染症モデル動物の作出と解析 ・ウイルスの増殖、感染維持、病原性に関わるウイルス遺伝子と宿主因子の研究 ・シチズンサイエンスによる蚊媒介感染症対策及び予測法の開発
生体防御学	松 崎 吾 朗 matsuzak@comb (8968) (千原地区)	結核などの細菌感染症に対する免疫・生体防御反応の制御機構を研究の中心課題とする。特に以下の点について、マウスを用いた個体・組織レベルから、培養細胞を用いた細胞・分子レベルにいたる幅広い解析を行う。 1. 感染防御における T 細胞サブセットと炎症性サイトカインの役割と解明 2. 病原体の病原因子による免疫細胞制御の分子機構の解明 3. 免疫活性化制御あるいは病原因子阻害による新規抗結核免疫療法の開発
感染免疫制御学	新 川 武 tarakawa@comb (8974) (千原地区)	・腸管毒素原性大腸菌（ETEC）及び志賀毒素産生性大腸菌（STEC）由来 AB5 型毒素分子のヘテロ 6 量体形成機構解明と B5 型ワクチンの開発 ・T=1 並びに T=3 正二十面体ウイルス粒子形成機構解明とそのウイルス様粒子（VLPs）形成機構を応用した VLP ワクチンの開発 ・T=3 正二十面体ウイルス粒子の殻構造を分子骨格に用いたワクチン抗原搭載技術（ハイブリッド抗原）の開発 ・天然及び合成化合物からの免疫賦活物質の探索とその免疫学的作用機序解明に基づくワクチンアジュバントの開発
臨床研究教育管理学	植 田 真一郎 blessyou@med (1193)	・臨床研究の現実的なデザイン、研究計画作成、データ管理、解析 ・臨床研究の品質管理
形成外科学	清 水 雄 介 yyssprs@med (1768)	・動脈・静脈・リンパ管の解剖研究 ・神経再生の研究 ・脂肪幹細胞を用いた再生医療研究 ・手術器具・医療機器開発研究

所在地略図

那覇空港から

【モノレール&タクシー】
那覇空港駅 約30分 ▶ てだこ浦西駅 ▶ タクシー 約10分 ▶ 琉大医学部・病院

【モノレール&路線バス】
那覇空港駅 約25分 ▶ 儀保駅 ▶ 那覇バス 97 約30分 ▶ 琉球大学病院前
那覇空港駅 約27分 ▶ 首里駅 ▶ 那覇バス 94 約25分 ▶ 琉球大学病院前
※平日のみ運行
那覇空港駅 約37分 ▶ てだこ浦西駅 ▶ 那覇バス 294 約10分 ▶ 琉球大学病院前
※平日のみ運行

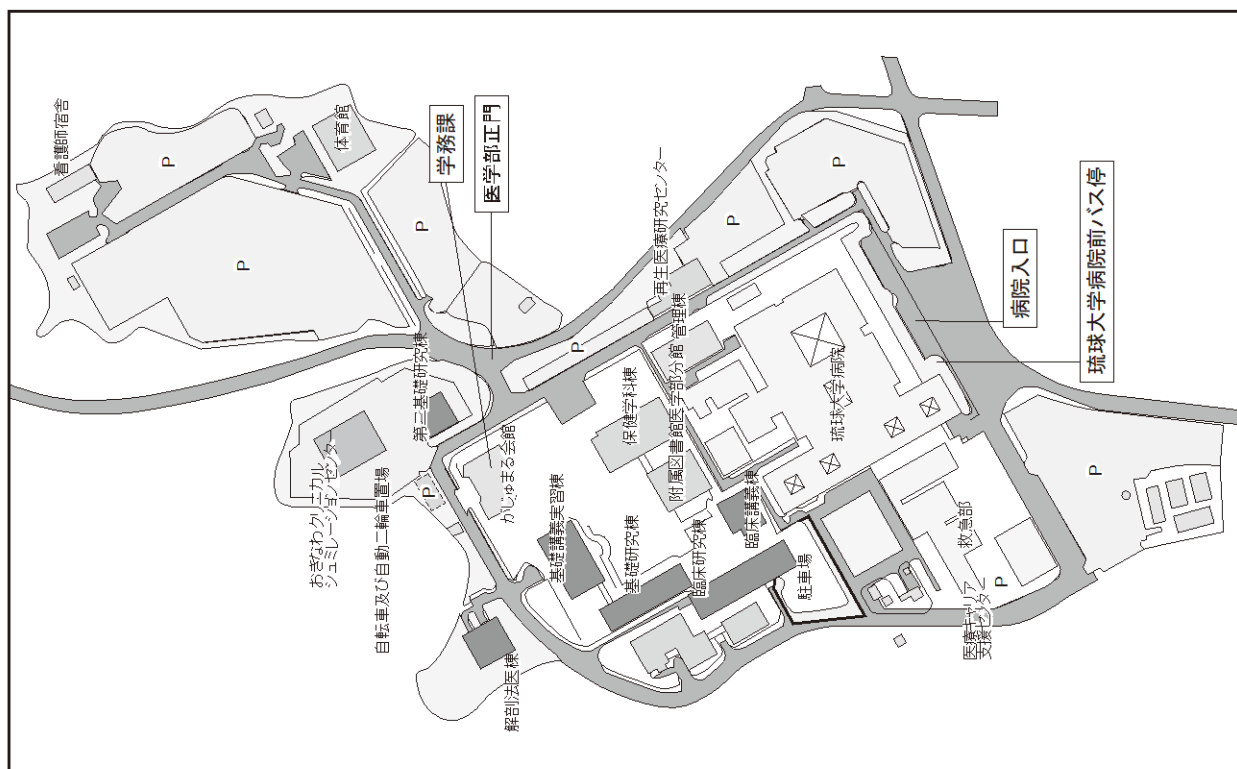
【タクシー】
那覇空港 ▶▶ 沖縄自動車道 約35分 ▶▶ 琉大医学部・病院
那覇空港 ▶▶ 那覇うみそらトンネル ▶▶ 国道330号 約35分 ▶▶ 琉大医学部・病院

那覇バスターミナルから

【路線バス】
那覇バスターミナル8番のりば ▶▶ 那覇バス 97 約50分 ▶▶ 琉球大学病院前



医学部建物配置図



令和6年度

琉球大学大学院医学研究科（修士課程）入学志願票

出 願 区 分	1. 一般 2. 社会人 3. 外国人留学生 4. 出願資格 (いずれか該当するものを○でかこむこと。)		受験番号	※	
ふ り が な					性 別
氏 名					男 ・ 女
生 年 月 日	昭和 平成 年 月 日生				年 齢 歳
志 願 す る（教育研究講座等）及び指導教員	志 望	(講座)		指導教員	
出 願 資 格	1.国 立 2.公 立 3.私 立 4.その他	年 月 短期大学（専門学校） 学科等 卒業 年 月 大学 学部 学科 卒業 卒業見込			
免許・資格等					
現 住 所	(郵便番号)				
	電話番号	市外局番 ()	-	携帯番号	- -
試験・入学等に関する通知場所	(郵便番号)				
	電話番号	市外局番 ()	-	携帯番号 ()	-
	メー ル アドレス	P C		携 帯	

記入上の注意

- 1 青又は黒のインクを使用し、楷書で記入すること。
- 2 現住所は、詳細に記入すること。（間借り等の場合は某方まで記入すること。）
- 3 履歴事項は、裏面に記入すること。
- 4 免許・資格等の欄は、該当する者のみ記入すること。
- 5 入学資格認定を要する者は、出願区分のうち1～3を併せて選択すること。
- 6 ※印欄は、記入しないこと。

履 歴 事 項

			氏 名	
学 歴	年 月	修業年限	事項（高等学校から記入してください。）	
	年 月～ 年 月	年		
	年 月～ 年 月	年		
	年 月～ 年 月	年		
	年 月～ 年 月	年		
	年 月～ 年 月	年		
職 歴	年 月	勤 務 先		
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
研 究 歴	年 月	研 究 先		
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			
研究計画概要（必須）				

令和 6 年度

琉球大学大学院医学研究科（修士課程）受験票

1. 一般 2. 社会人 3. 外国人留学生 (いずれか該当するものを○でかこむこと。)		
受験番号	※	
ふりがな		
氏 名		
志望する (教育研究分野等)	志 望	

写真貼付

正面向き上半身
脱帽 3 ヶ月以内
に撮影したもの
(縦 4×横 3 cm)

- 注 1 ※印欄は、記入しないこと。
2 この受験票は机右上に掲示しておくこと。
3 この受験票を紛失した場合は、直ちに届け出ること。
4 辞書は、英和、和英、医学辞書持込み可（電子辞書は持込み不可）。

きりはなさないこと。

令和 6 年度

琉球大学大学院医学研究科（修士課程）写真票

1. 一般 2. 社会人 3. 外国人留学生 (いずれか該当するものを○でかこむこと。)		
受験番号	※	
ふりがな		
氏 名		
志望する (教育研究分野等)	志 望	

写真貼付

正面向き上半身
脱帽 3 ヶ月以内
に撮影したもの
(縦 4×横 3 cm)

試験出欠確認欄	出 ・ 欠
---------	-------

- 注 1 ※印欄は、記入しないこと。

志 望 理 由 書（修士課程）

氏 名	

（注意）パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じて別紙（A 4 判）に作成すること。

研 究 業 績 目 録（修士課程）

氏 名			
学術論文，研究発表 報告，特許等の名称	発行，発表の 年 月 日	発行所，発表雑誌又 は発表学会等の名称	備 考 (共著者名称)

- （注意）
1. 年代順に記入すること。
 2. 学術論文等を別刷又は写しで添付すること。
 3. パソコン等使用により作成する場合は、本様式に直接又は本様式に準じて別紙（A 4 判）に作成すること。

研 究 歴 証 明 書（修士課程）

氏名 _____

上記の者が、下記のとおり研究歴を有することを証明します。

記

在職した機関 部局及び身分	
研究期間	年 月 ～ 年 月（ 年 月間）
研究題目及び研究内容	
指導教員・職・氏名	

令和 年 月 日

所在地

機関名

機関の長

印

受 験 許 可 書（修士課程）

職 名

氏 名

上記の者が、貴大学院医学研究科を受験することを許可します。

令和 年 月 日

事業所名

所属長

印

琉球大学大学院医学研究科長 殿

振込み上の注意

- 「検定料振込書」の※印欄を黒のボールペン（消えるボールペンは不可）で正確に記入してください。
《依頼日、入学志願者氏名（フリガナ）、住所、電話番号、振込先（枠内に○印）》
- 必ず金融機関（銀行等）の窓口で振り込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- 振込手数料については、志願者本人負担となります。
- 金融機関窓口から「検定料納付証明書（大学提出用）」を受け取る際は、取扱金融機関収入印が押印されているか確認してください。
- 「検定料納付証明書（大学提出用）」は出願書類に同封して提出してください。
- 以下の「検定料振込書」が使用できない場合は、各金融機関に備え付けの「振込依頼書」で振り込んでください。その後、振込依頼書の控え（写し可）及び氏名を記入した「検定料納付証明書（大学提出用）」の原本を出願書類に同封して提出してください。振り込みの際は、振込人氏名（志願者本人）の前に必ず募集区分（471）を付してください。

検 定 料 振 込 書

(振込前に志願者で切離し)

検定料納付証明書 (大学提出用)

★出願書類に同封して提出してください。

※依頼日	年	月	日
金額	¥30,000—		
※振込先	琉球銀行宜野湾支店 (普通)	428711	
	沖縄銀行我如古支店 (普通)	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店 (普通)	0563358	
	みずほ銀行那覇支店 (普通)	1478859	
※募集区分	471		
(※依頼者)	(フリガナ)		
氏名			
令和6年度 医学研究科 (修士課程)	琉球大学 検定料		



(取扱店→振込人→大学)

振込金（兼手数料）領収書

※依頼日	年	月	日
振込金額	¥30,000—		
※振込先	琉球銀行宜野湾支店 (普通)	428711	
	沖縄銀行我如古支店 (普通)	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店 (普通)	0563358	
	みずほ銀行那覇支店 (普通)	1478859	
受取人	国立大学法人 琉球大学		
口座名			
(※依頼者)	(フリガナ)		
氏名			
令和6年度 医学研究科 (修士課程)	琉球大学 検定料		

上記のとおり領収しました



(取扱店→振込人)

振込依頼書

電信扱

※依頼日	年	月	日
振込指定	428711		
※振込先	琉球銀行宜野湾支店 (普通)	428711	
	沖縄銀行我如古支店 (普通)	1540366	
	沖縄海邦銀行真栄原支店 (普通)	0563358	
	みずほ銀行那覇支店 (普通)	1478859	
口受座取人	コクリツ・イ・リ・ホ・ジ・ン リュウキョウダイ・イ・リ・ホ・ジ・ン		
(※依頼者)	※募集区分	471	※フリガナ
氏名			
※(住所)			
(電話番号)			
令和6年度 医学研究科 (修士課程)	琉球大学 検定料		
備考	【振込期間】		
	[1次募集]	令和5年7月26日 (水) から	令和5年8月9日 (水) まで
	[2次募集]	令和6年1月16日 (火) から	令和6年1月30日 (火) まで

(取扱店用)

